

市町村名		浦添市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	浦添市観光振興計画策定事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ 市場特性に対応した 誘客活動の展開	
担当部課名	市民部 経済観光局	観光振興課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	顕著に推移する沖縄県の観光産業を下支えするため、浦添市の観光振興の指針となる浦添市観光振興計画策定を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	総事業費	
	A. 予算現額	6,987	13,986	-	-	20,973	
	B. 執行済額	6,987	13,986	-	-	20,973	
	うち 交付金充当額	5,590	11,188	-	-	16,778	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	-	-	100.0%	
執行状況の説明	当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標及び成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。						
事業期間中 の活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	観光振興計画策定に向けた調査業務	目標	1件	-	-	-	-
		実績	1件	-	-	-	-
	観光振興計画策定に向けた支援業務	目標	1件	-	-	-	-
		実績	1件	-	-	-	-
観光振興計画の策定	目標	-	策定	-	-	-	
	実績	-	策定	-	-	-	
事業期間中 の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	調査・支援業務報告書の完了	目標	1件	-	-	-	-
		実績	1件	-	-	-	-
	観光振興計画の策定完了	目標	-	完了	-	-	-
		実績	-	完了	-	-	-

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 目標/発現年度	
	浦添市観光振興計画に基づき、観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。		目標	-	-	-	-	つなげる
			実績	-	-	-	-	
			目標					
		実績						
状況説明		【H30年度】 ・浦添市観光振興計画の進捗管理について、「浦添市観光振興審議会」を開催し、その中で経済効果等を測定する専門部会を設置した。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【H30年度】 ・令和元年に開業する大型商業施設やモノレール新駅開業及びその周辺開発など様々な環境が変化していく要因があることから、本計画が柔軟に対応できる体制作りが求められる。			【H30年度】 ・本計画では、前期(3年)、後期(5年)にわけて実施していくこととなるが、計画期間の8年で本市の情勢や環境は大きく変化していくものと思われる。そこで定期的な調査を実施し、「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」にて有識者との連携を図り、適宜適切な計画の見直しを行う。					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【H30年度】 ・「浦添市観光振興審議会」及び「専門部会」での有識者の知見を踏まえた進捗管理を行い、観光振興に向けた取り組みを推進する。 ・令和2年度に計画中間見直しを実施するにあたり、効果的な調査方法を検討する。 ・本計画の取り組みを推進していく上で、関係部署及び関係団体との連携強化を図る。								

市町村名		浦添市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	浦添市企業立地・雇用施策方針策定事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア 雇用機会の創出・拡大と求職者支援		
担当部課名	市民部 経済観光局	産業振興課	事業実施 年度	平成 28	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	本市の雇用環境の状況を把握し、雇用施策の改善・充実を図るため、社会的に流動的な雇用情勢に対応した中期的計画となる「企業立地雇用施策方針」を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	総事業費	
	A. 予算現額	8,400	3,787	-	-	12,187	
	B. 執行済額	8,316	3,783	-	-	12,099	
	うち 交付金充当額	6,652	3,026	-	-	9,678	
	執行率(%) (B/A)	99.0%	99.9%	-	-	99.3%	
執行状況の説明	当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標及び成果目標の達成状況に鑑みて、適正であったと考えている。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	R1年度	R2年度	R3年度
	企業立地・雇用施策方針策定のための基礎調査実施	目標	基礎調査実施	-	-	-	-
		実績	基礎調査実施	-	-	-	-
	企業立地フォーラムの開催 1回	目標	1回	-	-	-	-
		実績	1回	-	-	-	-
	検討委員会等外部組織の立ち上げ	目標	-	立ち上げ	-	-	-
		実績	-	立ち上げ	-	-	-
	企業立地・雇用施策方針策定のための検討委員会の開催 3回	目標	-	3回	-	-	-
		実績	-	2回	-	-	-
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			28年度	29年度	R1年度	R2年度	R3年度
	企業立地・雇用施策方針策定に向けての、本市の現状、課題の把握	目標	課題把握	-	-	-	-
		実績	把握した	-	-	-	-
	企業立地フォーラムの参加者 100人	目標	100人	-	-	-	-
		実績	100人	-	-	-	-
	浦添市企業立地雇用施策方針の策定	目標	-	策定	-	-	-
		実績	-	策定	-	-	-

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度 目標/発現年度
	企業立地雇用施策方針に基づき、雇用施策の実施につなげる。	目標	-	-	-	-	つなげる
		実績	-	-	-	-	
		目標				-	
実績					-		
状況説明	<p>【H30年度】</p> <p>企業立地雇用施策方針に基づき、以下の雇用施策を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業を希望する方及び創業して間もない方を対象にハンズオンによる創業支援を実施した。 ・市内の空き店舗と入居既往事業者とのマッチング支援を実施した。 ・在宅就労を希望する方向けに多様な働き方導入セミナー及びICTを活用したテレワーカー養成講座を実施した。 ・企業の人手不足課題の解決に向け、企業体験・見学ツアー開催し、企業とのマッチングに努めた。 ・介護の人材確保に向け、介護従事者によるトークセッション、介護をテーマにした映画上映及び介護事業所見学会を開催した。 						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用情勢は改善を見せる一方で、中小企業や小規模事業所は、求人募集をしてもなかなか人材を獲得できない状況が続いている。 ・多様な働き方導入セミナーでは、予想以上に多くの申込があったことから、在宅勤務等の関心の高さが窺われた。 ・企業誘致を行う大規模な土地の確保が困難な状況にあるが、西海岸エリアにおいて大型商業施設や大手コンビニ関連食品工場が立地するなど徐々に企業立地も進んできている。 			<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用のミスマッチを防ぐためにも、企業及び求職者のニーズの把握に努め、効果的なマッチング支援に取り組む必要がある。 ・在宅勤務など、多様な雇用形態により就業に結びつけることが可能であると考えられることから、多様な働き方の推進を図る必要がある。 ・ソフトウェア開発等の情報通信関連産業などの高付加価値の高い事業・企業を取り込んでいくため、引き続き空き店舗情報の提供及び市内遊休地の情報収集に努め、進出意向企業への有意な情報提供できるよう体制を強化していく必要がある。 				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業における人手不足を解消させていくことが、持続的な地域経済の拡大にとって必要不可欠であることから、就業を希望する方を確実に雇用に繋げていくため、浦添市雇用対策運営協議会、関係機関及び事業者と連携し効果的に雇用支援を実施していく。 ・人材の確保及び定着には、働きやすい職場環境の構築が重要であることから、沖縄労働局や関係機関と連携し、働き方改革を推進していく。 ・浦添市中小企業・小規模企業振興会議を通じて、市内事業所の現状及び事業者ニーズの把握に努め、地域密着型の支援を実施する。 ・都市モノレール延伸による各事業の動向も注視しながら、新たな雇用機会の創出に向けた企業誘致及び雇用施策に取り組む。 							

市町村名		浦添市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	施設型共同墓整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア 沖縄らしい風景づくり		
担当部課名	市民部	環境保全課	事業実施 年度	平成 27	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-12	
事業内容	市民の墓地需要に対応するとともに、新たな墓地建設の抑制及び点在する既存墓地の集約化を図る施設として、3,465壇の納骨壇と多数の遺骨を埋蔵することが可能な合葬室を備えた新しい形態の公営墓「浦添施設型共同墓」を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	総事業費	
	A. 予算現額	4,860	15,228	276,839	-	296,927	
	B. 執行済額	4,860	15,228	276,839	-	296,927	
	うち 交付金充当額	3,888	12,182	221,470	-	237,540	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	
執行状況の説明	事業内容は計画どおりすべて実施完了した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	施設型共同墓整備に係る基本設計の実施 (整備位置、施設規模)	目標	基本設計の実施	-	-	-	-
		実績	基本設計の実施	-	-	-	-
	施設型共同墓整備に係る実施設計の実施 (建築・設備に係る詳細設計)	目標	-	実施設計の実施	-	-	-
		実績	-	実施設計の実施	-	-	-
	管理運営方針の検討に向けた準備	目標	-	方針の 検討準備	-	-	-
		実績	-	方針 検討	-	-	-
施設型共同墓建設工事の実施 (納骨施設・管理棟の建築工事、外構整備、 駐車場配置改修) 延床面積:477.7㎡ 構造:鉄筋コンクリート1階建	目標	-	-	施設型共同墓 建設工事の実 施	-	-	
	実績	-	-	施設型共同墓 建設工事の実 施	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	施設型共同墓の建設着手に向けた基本設計の完了	目標	基本設計の完了	-	-	-	-
		実績	基本設計の完了	-	-	-	-
	施設型共同墓の建設着手に向けた実施設計の完了	目標	-	実施設計の完了	-	-	-
		実績	-	実施設計の完了	-	-	-
	供用開始を見据えた管理運営方針の検討に必要な基礎資料の収集・整理	目標	-	基礎資料の 収集・整理	-	-	-
		実績	-	基礎資料の 収集・整理	-	-	-
	施設型共同墓建設工事の完了	目標	-	-	建設工事 の完了	-	-
		実績	-	-	建設工事 の完了	-	-

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 目標/発現年度	
	年間施設利用者件数	目標		-	-	-	-	154件
		実績		-	-	-	-	298件
	状況説明	目標						
実績								
<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・墓地需要の受け皿となる本施設が整備されたことによって、新たな墓地建設が抑制されると同時に既に市内に点在する墓地についても墓じまい等によって整理されていくことが期待できる。そのため、施設の利用者件数を成果目標として設定した。 ・数値については、整備計画策定時に実施した市民アンケート調査を基に算出された本市の墓地需要予測から設定した。 (本市での今後30年間における墓地需要 4,619基) ※1年間あたり 4,619基÷30年≒154基 ・平成30年度は298件の申請(利用)があり、成果目標を達成した。 								
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供用開始から平成31年3月31日までに298件の申請があり、目標としていた154件を超える利用者件数となった。想定を上回った要因として、共同墓建設前の潜在的な需要も含んでいることや、予想以上に市民のお墓に対する考え方が柔軟になっており、本施設のような形態のお墓が受け入れられていることが考えられる。 ・市内に点在する承継者のいない個人墓地からの改葬や浦添墓地公園内の一般墓地区画返還に伴う申請もあり、個人墓の整理に効果がみられる。 				<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も様々な角度から広報活動を実施することにより各世代への周知徹底を図り、市民の墓地需要を本施設へと誘導していく。 ・使用者が将来にわたり安心・安全に利用でき、長期間の墓地需要の受け皿となることを想定した施設の維持管理を行う。また、利用者の満足度が向上するよう、施設の運営方法を改善していく。 ・新規の個人墓地経営申請もまだまだ一定数みられることから、沖縄の個人墓へ対する根強い需要を、いかに共同墓へと誘導していけるか検討する必要がある。 				
<p align="center">今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)</p>								
<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌やホームページでの広報活動や施設案内のパンフレットを各自治会事務所や関連施設等に配置し、より市内在住の各世代の方々の目に届きやすいような環境づくりを図ることで市民への周知徹底に努める。 ・供用開始から年間を通して実際に運用してきた実績や利用者の声をもとに、施設の運営方法や維持管理について改善を図り、利用者の満足度の向上と施設の円滑な維持管理に努める。 ・市内の個人墓地禁止区域等に係る規制の検討を行い新たな個人墓地建設の抑制に努める。また、承継者のいない市内の個人墓地からの改葬の受け入れや、浦添墓地公園内の一般墓地区画の返還に伴う申請を受け入れ、個人墓の整理を行う。 ・今後も市内の管理されていない墓地の所有者に本施設の案内を行うことや、浦添墓地公園内の一般墓地区画の返還に伴う申請では減免措置があることを説明していくなど、市民の墓地需要を本施設へ誘導していく為の方法を検討し、実施していくことが肝要である。 								

市町村名	浦添市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ 人流・物流を支える港湾の整備	
担当部課名	企画部 西海岸開発局 西海岸開発課	事業実施 年度	平成28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(3)		
事業内容	<p>観光客を受け入れる港として、停泊中の船舶からの排気ガス削減や騒音を抑制し、快適な環境の確保を図るため、泊ふ頭に陸上電力供給施設を整備する。</p> <p>【施設概要】 高圧受変電設備:3箇所(電源供給対象船舶)フェリーとかしき、フェリーざまみ、粟国フェリー 電圧:6600V 全出力:350kW 屋外型</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	総事業費	
	A. 予算現額	4,342	-	-	-	4,342	
	B. 執行済額	4,222	-	-	-	4,222	
	うち 交付金充当額	3,378	-	-	-	3,378	
	執行率(%) (B/A)	97.2%	-	-	-	97.2%	
執行状況の説明	当該施設を利用する各船社との協議を踏まえた受電設備の仕様見直し及び当該設備の配置の検討において関係者との調整に不足の日数を要したため、翌年度に繰り越しH29年度に事業を完了した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設の実施設計並びに整備工事の実施	目標	実施	-	-	-	-
		実績	実施	-	-	-	-
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	陸上電力供給施設整備 3基	目標	3基	-	-	-	-
		実績	3基	-	-	-	-
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度
	観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか(80%以上)を含め、船舶運航事業者へのアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。		目標	-	-	-	80%
			実績	-	-	-	
			目標				
		実績					
状況説明	【H30年度】 ・アンケートの内容及び実施方法について検討中。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【H30年度】 ・対象船舶を利用する乗降客は増加傾向にある。 当該施設の設置にあたっては、事前に関係者とその仕様、及び設置場所について協議を行っていることから、快適な環境づくりに寄与しているものと考えられる。			【H30年度】 ・泊ふ頭を利用する観光客の満足度向上に向けて、次年度以降、屋根付き歩道や多言語標識の整備を行うための事前準備を進めるとともに、アンケートの内容、実施時期について検討を行う。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【H30年度】 ・屋根付き歩道の整備や多言語標識の整備に向けた準備を進め、泊ふ頭地区における観光客の更なる満足度向上を図る。							

市町村名	浦添市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	冷凍冷蔵コンテナ用電源整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア 臨港・臨空型産業の集積による 国際物流拠点の形成		
担当部課名	企画部 西海岸開発局 西海岸開発課	事業実施 年度	平成28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(3)		
事業内容	<p>新港ふ頭の国際コンテナターミナルに設置されている、冷凍食品等低温輸送用コンテナのためのリーファー電源を増設することで、年々増大している冷凍冷蔵コンテナ需要に対応し、那覇港における取扱貨物量の増加を図る。</p> <p>【施設概要】 リーファー電源 440V (2段×10口、1段×2口、計22口)</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	総事業費	
	A. 予算現額	6,606	-	-	-	6,606	
	B. 執行済額	5,593	-	-	-	5,593	
	うち 交付金充当額	4,474	-	-	-	4,474	
	執行率(%) (B/A)	84.7%	-	-	-	84.7%	
執行状況の説明	<p>・リーファー電源の設置箇所の選定に伴う調整に不測の時間を要し、H29年度に繰越した。 ・当初は、既存の電気室を増築し、リーファー電源の増設を行う予定であったが、既存の電気室の容量が22口分の増設まで対応可能であり、電気室の設計が不用となったため、予算に一部不用が生じた。</p>						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	リーファー電源及び電気室の実施設計の実施	目標	実施設計の実施	-	-	-	-
		実績	実施設計の実施	-	-	-	-
リーファー電源10口設置工事の実施	目標	10口	-	-	-	-	
	実績	22口	-	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	リーファー電源及び電気室の実施設計完了	目標	実施設計完了	-	-	-	-
		実績	実施設計完了	-	-	-	-
リーファー電源10口設置完了	目標	10口設置完了	-	-	-	-	
	実績	22口設置完了	-	-	-	-	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度
	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量の増加	目標	-	-	-	-	76万トン
		実績	70万トン	71万トン			
状況説明	目標						
	実績						
【H30年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【H30年度】 ・那覇港におけるリーファーコンテナの取扱貨物量は増加している。R1年度の新港ふ頭地区での那覇港総合物流センター開業に伴い、取扱貨物量は今後さらに増加していくものと考えられる。			【H30年度】 ・那覇港総合物流センターを活用した集貨・創貨の取組促進のため、運営事業者による施設の運用状況を定期的にモニタリングしていく必要がある。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【H30年度】 ・那覇港総合物流センターの開業後は、月に1度モニタリング会議により事業者の集貨・創貨計画の取組状況を確認し、必要に応じて指導・勧告を行う。							